



民芸風のモダンで斬新な喫茶店。



|              |    |
|--------------|----|
| ご挨拶          | 3  |
| 回想録          | 5  |
| 風月本店への惜別譜    | 16 |
| 年表           | 21 |
| 新規店舗の紹介      | 24 |
| 橋本教元常務の遺稿    | 27 |
| 風月グループと会社の遍歴 | 32 |
| 歴代役員一覧表      | 33 |
| 風月会会長の祝辞     | 35 |
| 風月会企業一覧      | 36 |
| 風月ロゴ一覧       | 37 |
| 編集後記         | 38 |



# ご挨拶



代表取締役社長 義朗  
福山

クリアーチでこそ、初めてお客様に認めて頂けるかどうかが決まります。

特に風月の発祥の地である福岡の天神は、地元の優秀なフードビジネスだけでなく、中央からは勿論海外からも、ユニーケな商品が入ってきたり、食を通じて夢を売る店、舞台がたくさんでき、もはやイメージ、コンセプトあるいはポリシーの戦いになつているのではないかと思われるくらいです。その証拠に、

レストランは栄養補給の場所ではなくなつただけではなく、エンターテイメント(娯楽)の施設であるといつた、ポリシーの違うライバルもたくさんできました。戦後もすでに50数年、私どもの会長が創業の頃と比べて現在の風月を取り巻く経営環境はあまりにも変わりました。物価は勿論のこと、価値観からすべてが変わり、世の中は豊かになりすぎ、その弊害まで出てきており、心の豊かさが叫ばれている現在です。

戦後創業された多くの企業が、最近50周年を迎えて新しい第一のスタートを切つており、風月グループも、よりお客様に愛され、より喜ばれる立派なフードサービス企業になるよう、年頭の経営方針発表会で誓いあつたばかりで、心を新たにしております。

昔はおいしさは甘さでした。しかし、現在はすべてのバランス、つまりプロが作る本物のコーヒー、料理、パン、ケーキであることが最低の基本です。それに清潔さ、上品さ、スマイルそして立地などの諸条件を

風月の歴史は、それはそれは試行錯誤と苦労の連続でした。創業時の苦労については、福山会長や今は亡き常務であった橋本教氏が、回想録の中で戦後の動乱と創業の生の苦労話を述べていて、おわかり頂けるものと思います。

さて、一代目の私が実際に風月の経営に携わるようになつたのは、昭和50年にアメリカ留学から帰国し、風月の5つの店の店長を経験した後からであります。創業百周年に向かつて、第二の創業期をスタートする1999年はまさにその正念場とも言えると思います。最近私が社内に強調していることは、極端な売上拡大や企業規模拡大よりも、堅実経営による利益確保が最優先だということです。なぜなら私どもが頂いているお給料や、会社が生きているのも、従業員の皆さんのが頑張つてくれた食の価値の代価から頂いており、また風月は地域に密着した企業であり、体力にあつた地域貢献をするためにも、そしてまた企業存続をするためにも、利益確保が重要だと言つております。

私の下の妹が育つてきました。こういう内助の功の模範ともいえる母の支えがあつたからこそ、会長も私も、そして今日の風月グループが元気であるのだと思い、会長はいうまでもないことですが、母にも深い感謝しております。

フードビジネスは一見華やかに見えるようですが、まったく逆で誠に地道な業種です。一般的には週末や祭日、そして朝、昼、夜のお食事の時間帯にお客様がたくさんおみえになります。また、お正月やゴルデンウイークや夏休みにはお休みを取り、家庭サービスやレジヤーを楽しめます。しかし私たちにとっては、その時が一番大事な時として、いつも特別体制を敷きまして、幹部総出で現場を応援し、また監督をします。最近はサイドビジネスに飲食業を営まれる方も多くいますが、生半可な経営では難しいと考えています。人様がお遊びになっている時にはお客様をお迎えし、現場を補佐し、平常においては、いかにして各現場がよりよくお客様に愛されるようになるかを常に考える自覚を持つてないと、成功は難しいと思います。

しかし、私も幹部も従業員も生身の人間として、例えは最近は世間一般的にお休みの回数が増え、心身ともにリフレッシュの機会が多くなっています。こういう世間の標準にはついていかなければなりません。その従業員や幹部のお蔭で、いろいろな苦労

した。当時はまさに高度成長期でもありました。小さい頃から飲食業の長男で、男の兄弟がおらず2人の妹だけであった私は、自分が風月の後継者であることを当然のこととして青春を迎え、学生時代を終えましたが、東京の2つの会社で修行をしながらつかフードサービスの認知度が高いアメリカでの修行とレストランマネジメントの勉学をして、帰ってきたのでした。

思い返せば、小さい頃私の母は、3人の育児と教育と家庭を築き上げることに徹していました。元の風月西鉄街本店(現西鉄天神コアビル)を直接手伝つてはいませんが、陰で夫である会長(当時社長)を支え、自宅でコーヒーを濾す不器用の生地の袋を作つたり洗つたりして、よく覚えています。

自宅での母の仕事の手伝いはそれだけではありません。鳥飼の自宅で、仕入れたコーヒーの豆60kgを一斗缶に移し替えて押入れに入れたり、せんざいの付け合せのための奈良漬を酒粕から作つたり、後口用の昆布の佃煮も自分で作つておきました。それらを会長は、当時の自転車で一人で鳥飼の自宅から風月西鉄街本店まで運んでおりました。また母は、本店のスペシャルルームのテーブルや椅子のカバーを80枚ずつ作り、その洗濯やアイロン掛けまでしていました。当時は洗濯機などなく、すべて手洗いでした。しかもこの頃の母のお腹の中には、

**社是**  
風月は、食の文化を追求し、  
豊かなフードサービスを  
クリエイトします。  
**社訓**  
私達は、常に感謝・尊敬・  
反省の心を持って、行動  
します。



■家族そろって(昭和44年撮影)

# 第一章 「創業－西鉄街風月」

セイセイ・フィルム  
カーメラ・ソーパダヤ



■西鉄商店街夜景  
(注)西鉄街は、西鉄不動産の前身昌栄土地が、福岡市から焼け跡約2,900平方メートルを戦災復興の特別都市計画により払い下げを受け、ここに木造モルタル塗り2階建て(1階店舗14.8平方メートル、2階住居)60店舗を建設したもので、東側で因幡町商店街と接し、昭和49年再開発により天神コアビル建設が始まるまで天神では新天町と並ぶ大きな商店街であった。

**(独立)**  
戦後は、石炭、白米、肥料、砂糖等物資不足の中で、肥料増産に全力投球しておりました。終戦から二年後、福岡営業所長として勤務していた私に、東京に転勤の話がありました。上京してみるとヤミ市ばかりで、とてもサラリーマンがまともに生活できる状態ではありません。当時、たまたま天神町市場の横に一軒売家がありましたので、思い切ってチツツを辞めて独立することを決心しました。

水俣で私が採用試験をし、私の部下として尽くしてくれた橋本教(さとし)君が、妻子を連れ私を頼つて来ましたので、狭い我が家に同居することになりました。私の郷里柳川で雇つておりました内藤ハツも、一緒に働かせて下さいと言うので手伝つてもらうことにして、橋本君と内藤ハツで頑張ってくれました。アイスキンギヤーの機械を購入することができました。アイスキンギヤーを売るお店でした。昭和22年7月に開店しましたが、開店早々より大繁昌致しました。材料については、「運びヤ」と呼ばれる人達が、駐留軍用のアイスクリームミックスとか、また小豆とかヤミ米とかを結構持ってきて、売込みに來たものです。

**(西鉄街本店の創業)**  
ところがひと夏過ぎたころ、天神町市場の区画整理が始まりました。私が買った家も区画整理の



■西鉄街本店コーヒーカウンターの客(昭和26年正月)

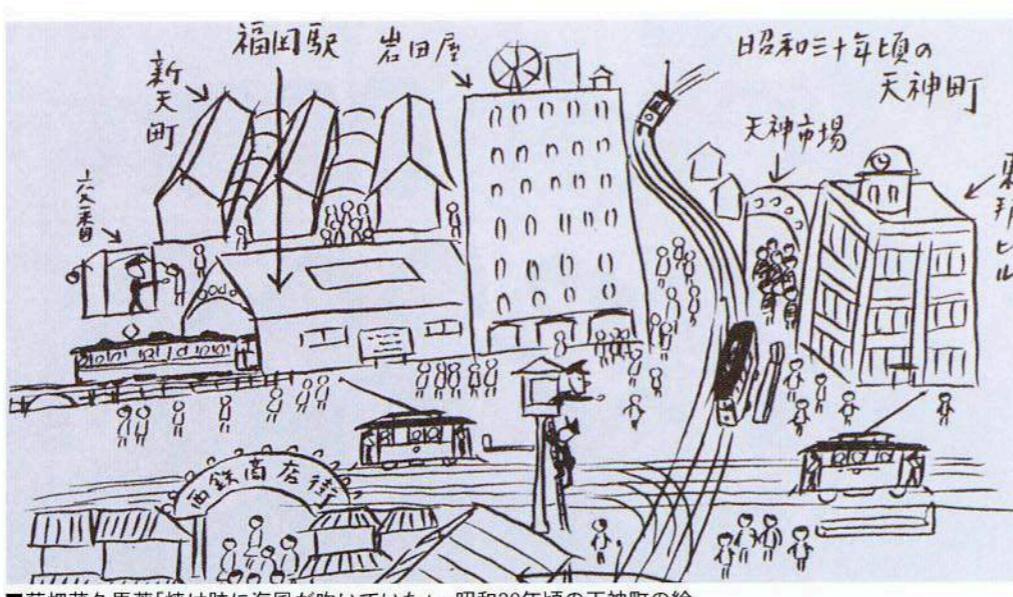
対象地に建つていたのです。区画整理後、西鉄商店街ができましたが、その二戸分を買って入居し昭和24年5月に喫茶店を開業、後日隣接する因幡町商店街の二軒を順次購入し、店舗を拡張してレストランも始めましたので、かなり大きなお店となりました。

木と鉄を使ってモダンな民芸風のお店に仕上げて、当時としては斬新な店作りでしたし、なおまた、三

**(終戦)**  
終戦直前、日本窒素肥料(現チッソ)水俣工場に数十機の爆撃機が急降下して大型爆弾を投下し、数十人の従業員が悲惨な最期を遂げました。防空壕に入ついても直撃を受けた者は勿論即死しましたが、満員で入れず、すぐ隣の古い硝酸釜を横に入つて、土の中に半ば埋めて壕の代わりにしていた所に入つていた者は十数メートル釜のまま吹き飛ばされました。頭は瘤だらけになりながら命は助かりました。その空襲の跡を整理中に、工場の正門に家内が赤ん坊を抱いて走つてきました。聞くと、四キロ位離れた所にある社宅の奥様達から、福山さんも犠牲になられたそうですが、せめて赤ん坊に死に水をと勧められたので、走つて来ましたとのことです。その赤ん坊も今や五十四歳、私の後継者として頑張っています。

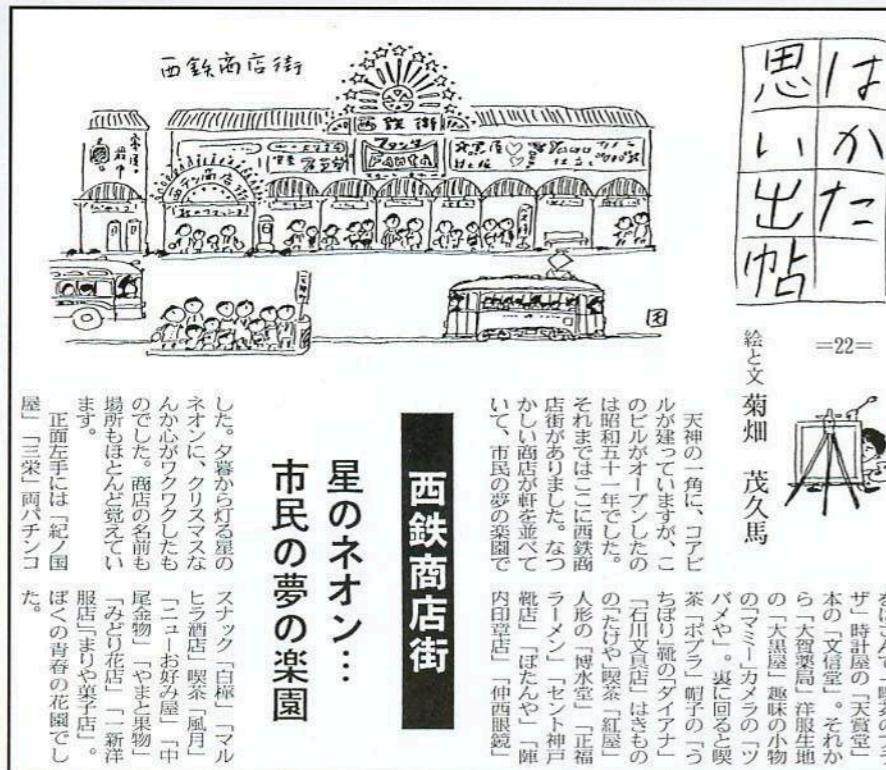


代表取締役会長  
福山 正直



■菊畑茂久馬著「焼け跡に海風が吹いていた」昭和30年頃の天神町の絵  
(注)天神町市場は戦後間もなく生まれた生鮮食料や日用雑貨中心の市場、昭和24年12月に都市計画により現在の福岡銀行本店がある場所に移転するまでは、西鉄街が建てられる以前の一帯にあった。

岸節子など一流の画家の絵を購入して壁に掛けておりましたので、来福の文人、画人の集会の場所となつておりました。その頃大阪でソフトクリームが大人気でしたので、アメリカ帰りの一世の人が大型機械で作っていた日世商会のコーンカップの九州特約店となり、売り出しました。これも大当たりして、



■平成9年9月9日 西日本新聞 「はかた思い出帖—西鉄商店街



■平成9年10月21日 西日本新聞 「はかた思い出帖—風月本店

初めて「アイスキャンデー」の店を作ったときから数えると、創業50年目は一昨年になりますが、喫茶店を開業したときに合わせて、昭和24年5月27日に有限会社日星商会という会社組織にしました。私はこのときを創業と考えてきましたので、平成11年の今年を創業50周年として記念の行事を行なうことにしました。

初めてアイ



西鉄クリッパーズ(ライオンズの前身)選手歓迎会(昭和25年春)



■西鉄街本店1階オープンキッチンガ  
ター(昭和27年)

た俳優の米倉斉加年と一緒に憧れの風月に行つたのが最初で、今でも時々その名残を残す天神コア店に寄つて頂いているとお聞きして、嬉しく思つたかったです。



■当時の夏の制服とアイスクリームカウンター(昭和25年8月)



■当時の冬の制服と会長[2列目右端](昭和28年正月)

階がレストラン、2階が純喫茶で、当時ぜいたくな革張りのイスをそろえ、安永良徳の彫刻を置くなど室内装飾費を奮発した。照明を抑えて大人のムードに、マッチラベルも伊藤研之、山田栄二、赤星孝らに依頼する。カウンターでは橋本教がチヨウネクタイでカフェ・オーレ、ワインナーなど10種類のコーヒーをこなし、角砂糖のブランデーをパツと燃やす口ワイヤルも入れてみせた。お冷やをコップで運んだのも、グラニュー糖の砂糖つぼを「ご自由に」とテーブルに置いたのもここが最初。

## 第二章 「新しい事業へのチャレンジと駅への出店」

### (菓子事業へのチャレンジ)

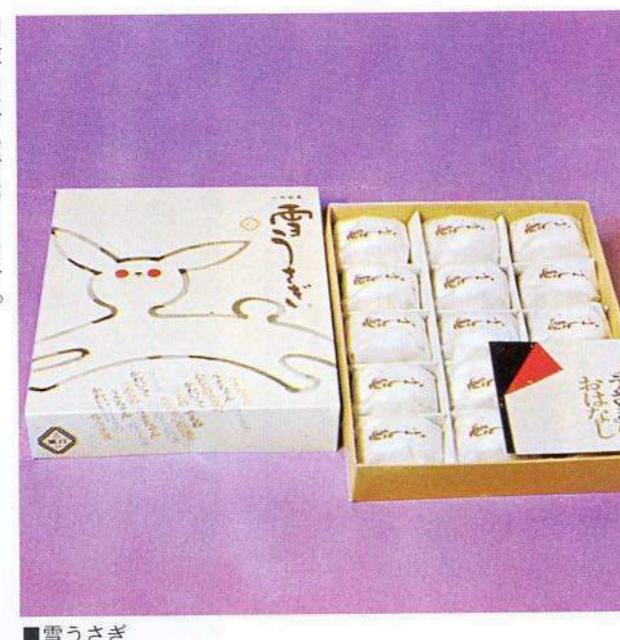
昭和32年に、因幡町に試験的に小さな菓子工場を作りました。風月本店の斜め前でお茶屋を営業しておった青木半治君が、店を引受けて何かやってくれでないと他の人に譲ると言つてきました。当時西鉄ライオンズが優勝し福岡は野球一色という程になつておりましたので、「平和台饅頭」を思いつきました。どうせやるならと、選手の名前に入つた包み紙に一個ずつ包みまして、箱に各選手名の饅頭を並べ、包装紙も野球にちなんだものと致しました。ライオンズ隆盛と共に爆発的に売れましたものの、ライオンズの衰微と共に売れ行きも衰微していました。先見性のない失敗で、良い教訓を受けたと思います。



■平和台本舗全景



■平和台本舗店内と販売員の制服



■雪うさぎ



■当時の風月宣伝車

### 当時の「風月従業員十訓」

因幡町に作りました仮設の菓子工場は、昭和38年に現在の野間の本社の敷地に移転しまして、ロングセラー商品となつたジャンボシューを生むなど洋菓子の老舗としての地歩を築き、洋菓子の風月として人気を博しました。

昔、宗(中国)の国で学問を修めた大応国師が、帰国の途次雪深い山中で狼に追われていたうさぎを助けて船に乗り帰國の途中、玄界灘で船が暴風雨に遭い難破しそうになつたとき、そのうさぎが荒れ狂う海に身を躍らせ荒波がビタリとおさまって、大応国師一行は無事博多の港に帰ることができたといふ民話が、大応国師が建立した博多の名刹崇福寺(博多区千代町)に伝わっています。この民話にちなんで「雪うさぎ」というお菓子を、昭和40年頃考案致しました。今では「雪うさぎの風月」と言われるようになりましたが、奇しくも風月創業50周年の1999年は、干支がうさぎです。これも何か

### (西鉄福岡駅への出店)

柳原白蓮で有名なあかがね御殿の跡には、戦災

の後阿部品蔵という人が商店街を作つておりました(\*注一 天神町市場のこと)。現在の福岡銀行本店あたりです。ところが、昭和30年に放火により全滅しました。そこで、福銀と郵便局と天神町市場の三者間で相互に土地を交換する話が持ち上がり、天神町市場跡に福銀が入り、福銀所有地に郵便局が(\*注一 現在の中央郵便局)、郵便局跡には天神町市場関係者も入居することで西鉄がビルを建てる(\*注一 現在の福ビル)ということになりました。このビル会社に風月とロイヤルも出資して共に大株主となつておりましたが、西鉄ではビルに

|            |  |
|------------|--|
| 一親切        | 親切丁寧、迅速、この三者は古くして新しい私達のモットーです。                       |
| 一協同        | 各従業員は所属係の一員であると同時に、風月全体の一員であります。和衷協同以て完全なサービスに専念します。 |
| 一品位        | お互いに礼儀を正しく標準語を使ひ、自らの品位を高めます。                         |
| 一保健        | 各自衛生に注意し健康増進に努めます。                                   |
| 一清潔        | 清潔は風月の生命です。店内は勿論自己の清潔に心掛けます。                         |
| 一節約        | 一枚のナフキンと雖も粗略にせず私用には供しません。                            |
| 一研究        | 自己受持の仕事は勿論、お客様の嗜好まで研究します。                            |
| 一記憶        | 整頓は記憶の助手です。常に整頓に注意し実行します。                            |
| 一感謝        | 又お客様のお顔とお名前は速に覚えます。                                  |
| 一敬慎        | お客様の面前でひそひそ話や、よくすく笑ひをしたり、身姿を凝視することは固く慎みます。           |
| 一右則を厳守します。 | 何時も、いらっしゃいませ、有難うございますの感謝の言を忘れません。                    |

告示  
昭和三十二年六月十四日

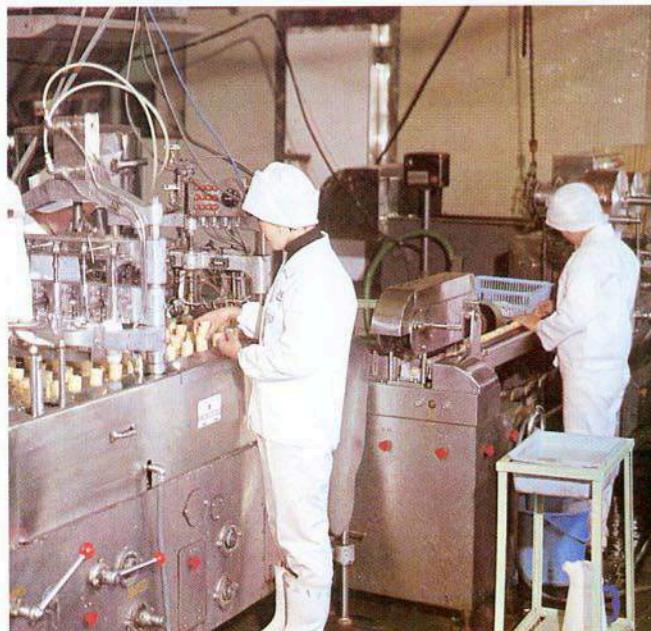
飲食店として入居させるのはどちらか一社にしたいということになって、仲々結論が出ませんでした。西鉄では当時福岡駅を高架にして、その下に名店街をつくるという構想がありましたので、一社が名店街に行くことで落着き、風月が名店街に行き口イヤルが福ビルに入居することとなりました。

名店街では、一階と中二階を開設することで西鉄の許可を頂き昭和36年に開店、その後昭和43年、52年、61年とほぼ10年毎に改装を繰り返して38年間営業してきましたが、今回の西鉄福岡駅の再開発に伴い一旦営業を休止して、創業50周年の今年の春に新しく生まれ変わることになりました。また名店街開店後間もなくして、福岡ビルでも一階菓子売店と九階レストラン、結婚式場を経営させて頂くことができるようになりました。今でも福ビルの風月で結婚式をあげたんですよと言われることがあります、昭和44年に西鉄グランドホ

飲食店として入居させるのはどちらか一社にしたいということになつたと話されていたことを思い起こし、風月も



■福ビル九階レストラン



■アイスクリーム製造風景



■アイスクリーム製品

### (アイスクリーム事業の経験)

この頃、親しい取引先より是非アイスクリームの製造をやつたが良いとの強い勧めを受け、昭和37年に現在本社のある野間に土地を手当して、小規模ながらアイスクリーム工場を作りました。(＊注一現在のパン工場) 苦労も多い仕事でしたが、風月独自の特色のものでそれなりに好評を博しておりました。たまたま全国的にアイスクリーム事業展開を図つていた新世乳業が、九州は甘木に工場を作つた直後に本社が倒産しました。甘木の九州新世乳業は、福岡にある空研工業が工場の建設を一切請け負つていましたので、その株式を全部掌握しておきましたが、風月がその株を買収して経営を引受けってくれないかとの依頼を受けました。一気に規模の拡大につながると期待して引受けました。

しかし当時九州には、雪印、明治、森永、ロッテの大手以外にも、十数社のローカルのアイスクリーム製造会社があつて競争も激しく、完全な装置産業ですべて次々と大きな設備の追加投資をしなければなりません。そのため風月の資金圧迫につながり大変苦労しました。サニーの創立者で前社長の松本金也さんが、五高時代の同級生で福山さんのいとこ日本能率協会の十時昌さんに企業診断をしてもらいました。パート化を実現したおかげでサニーが好成績になつたと話されていました。



■当時の名店街風月での会長



■道路はまだ未舗装の天神と西鉄名店街(昭和37年)

### (国鉄博多駅への出店)

昭和38年に国鉄博多駅が南側に六百メートル移動して、現在の駅ビルができました。新駅は民衆駅として、九電、西鉄、福銀等福岡の財界が出資して、博多ステーションビルの株主としてその経営にあたりことになり、ビルの中に商店街ができましたので、風月の洋菓子、平和台饅頭等の売店を出店させて頂きました。



■移転する前の博多駅(昭和27年)

テルができてからは、段々とホテルで結婚式をあげることが主流になりましたので、昭和59年に九階レストランと結婚式場は経営を撤収致しました。

## 第三章

## 「高速交通時代の到来とともに歩んだ事業拡大の道程」



■(財)道路施設協会より表彰を受ける社長

なりました。昭和50年からは、うどんのお店もビルからの営業委託ということで「めん処」として出店し、極めて好成績をあげておりましたが、平成5年の新ターミナルビル完成時に退店し、代わりにパンテル



■九州自動車道広川サービスエリア(昭和55年)

ン空港店ができました。今年スタートする西側の新国際線ビルには、再び「めん処」を出店させて頂くこととなっています。

## (高速道路への出店)

一方高速道路も、九州縦貫自動車道が順次建設されることとなり、本格的なハイウェイ時代の到来が予想されたので、昭和48年に広川のサービスエリアの経営を受託致しました。これまた、当初はまだ福岡・熊本間が全線開通しておりませんでしたので、仲々苦労ましたが、モータリゼーションの急速な発達と九州縦貫道路の伸長で、急速に売上が伸びて大変ありがたいことと思っております。サービスエリアを管理する財団法人道路施設協会が設立20周年を記念して、昭和60年に優秀店の表彰を行いました際、広川SA店も全国164のサービスエリアの中から表彰された5店舗の中に選ばれ、大変名誉なことでした。そうした実績が認められて、平成5年には長崎自動車道の金立サービスエリアの経営も受託することができ、当初より会社の成績に貢献しております。



■福岡空港第一ターミナルビル店のカウンターバブ

## (福岡空港への出店)

日本経済の高度成長を背景に、福岡空港の乗降客が増えて既存の木造ビルでは手狭になったことから、昭和42年に福岡空港ビルディング(株)が設立され福岡空港のビル建設が始まりました。昭和44年に第一ターミナルビルが完成して、日本航空の他に全日空の東京→福岡線も開設されましたので、入居致しました。続いて昭和49年に完成した第二ターミナルビルにも入居致しました。その際、風月本社のアイスクリーム要員を空港勤務に転勤させ、技術者は九州新世乳業に行けるようにして、アイスクリーム事業から撤収することにしました。共産党の事務所に行き、事業部門の閉鎖に抵抗する人もおりましたが、難問を無事解決することができました。この事業撤収という難問をのりきれたのは、担当してくれた小栗寅彦専務の尽力によるところが大きかったと思います。

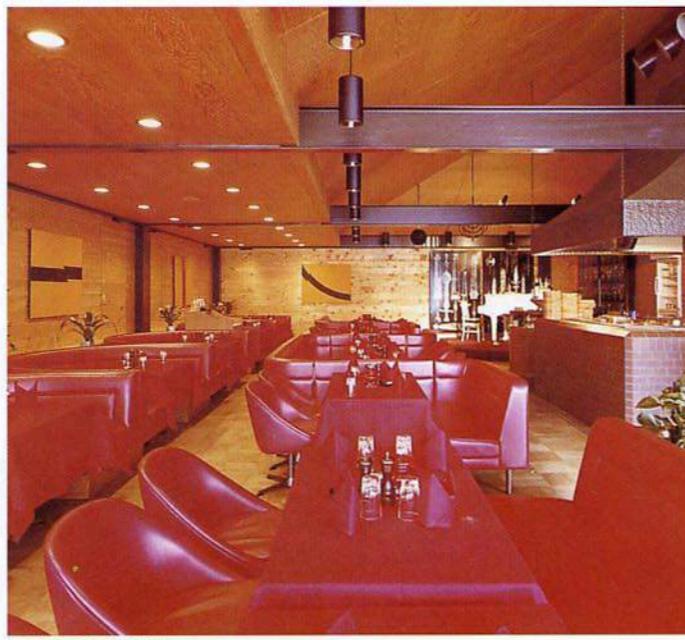
空港では洋食のロイヤルに対して、和食店で出店することになりましたが、当初は食事時間以外はまだ閑散としており大変困りました。しかし、航空旅客の急増は著しく現在のように賑わう店と



## 第四章 「流通の変化と事業の変革」



■グルメ風月店内



■グルメ風月店内



■サンエフビル(博多区博多駅前2丁目)

**(オフィスビル建設)**

現在の博多駅ができる前は、駅の予定地には硝子工場があり周辺は農地ばかりでした。当時農地の売買は仲々容易なものではありませんでしたが、幸い三百坪位の土地を確保できましたので、昭和45年にステーキハウスのグルメ風月を建設しました。ヨーロッパに行って、フランスのパリで広い緞帳を買つたり、イスズでホルンを買つたりしてステーキハウスらしくしました。しかし、周囲にビルが建ち始めまして二階建利用ではもったいないので、昭和59年に思い切ってオフィスビルの建設に踏み切り、昭和61年に竣工しました。駅前正面で場所も良かつたので、一階には銀行が入り、二階には医療機関、三階より上は有名企業で満員となりました。福岡の風月の福山という意味をこめて、「サンエフビル」(三つのFのイニシャル)と名付けました。私の兄がブリヂストンの常務をしておりましたので、BSを参考

特に因幡町商店街は昭和46年5月27日深夜大火災が起り、隣接する西鉄街も一部類焼しました。因幡町と西鉄街に連結して店を構えていた風月は、相当の被害を受けました。それから因幡町ビル(西

にした気持もありました。

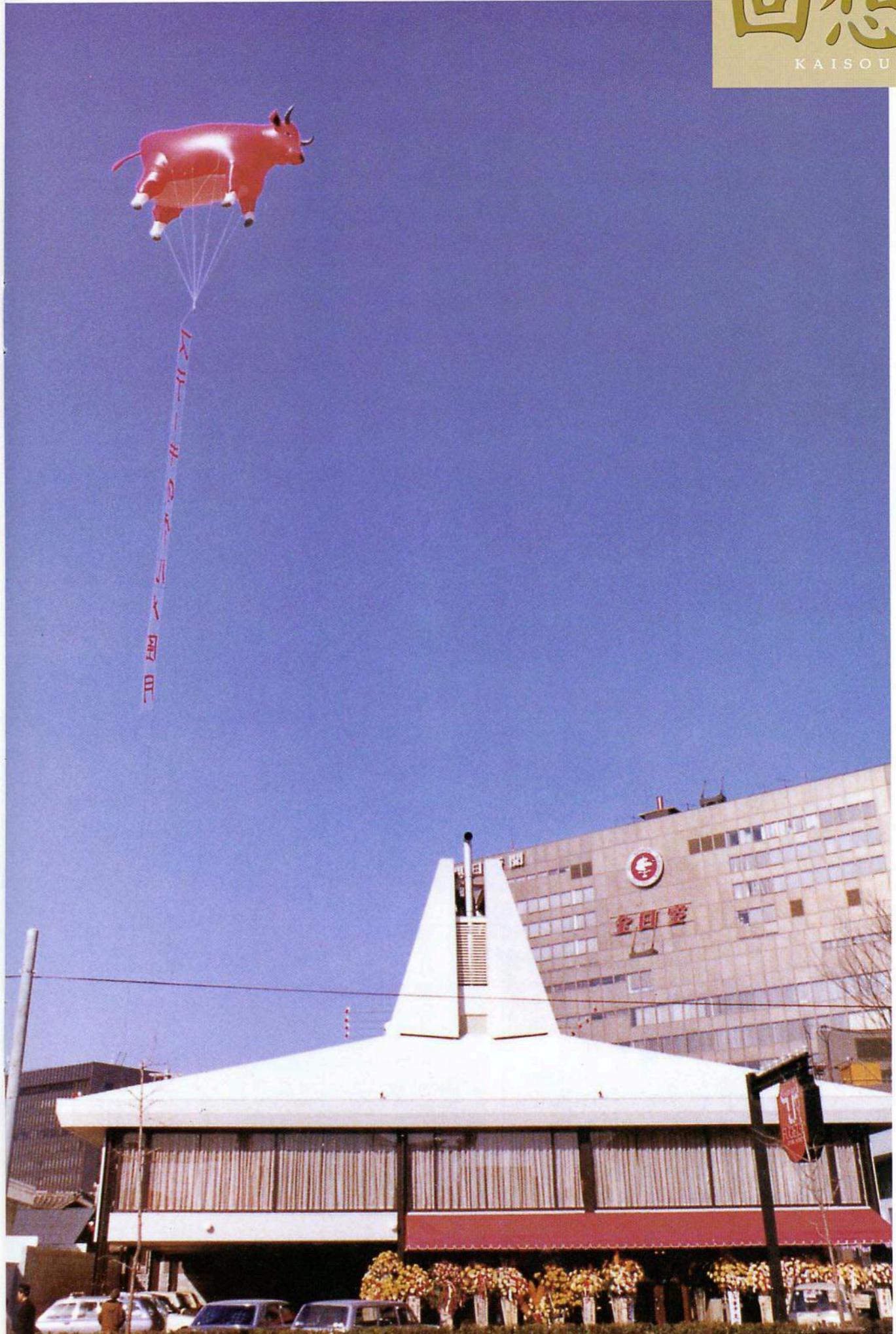
(※注—BSは創業者石橋氏の石(Stone)と橋(Bridge)に由来)

### （天神の流通の変化）

天神では岩田屋デパートを中心にして、西の新天町商店街と東の西鉄街因幡町商店街が、競いながら共に繁昌しておりました。ただ、東側には県庁・市役所があり、中洲の歓楽街があり、川端商店街と統いておりましたが、西側にも親不孝通りといふ変わった繁華街ができて西通りと続き、商業地域の変転も激しく、いつのまにか変わっているものです。



■コアビル開店に押しかけた人の波



■グルメ風月開店の牛のアバルーン

鉄街ビル)――コアビルと不燃化ビルの必要性が急速に高まつたものです。そのため、創業以来25年間営業を続けた西鉄街本店も昭和49年にその幕を閉じて、昭和51年にできた天神コアビルの中へ、形を変えた喫茶店となりました。その前年には西日本新聞会館ができる博多大丸が呉服町から移転し、コアビル開業直後には天神地下街と岩田屋新館ができて、第一次天神流通戦争と呼ばれました。

### (パンテルンの展開)

今や風月の事業の柱の一つに育ったパンテルンは、フランス語で「VENT ET LUNE」(風と月)です。私は長らく商工会議所の議員をしており、従つて商調協の委員も長いのですが、ダイエーもスーパーを福岡で展開するについては、当初は中内功さんが自ら商調協の委員を歴訪して努力されたのです。渡辺通り一丁目のダイエー、西鉄グランドホテル東側のダイエー(今はない)、野間大池のダイエー、ショッピングセンターのダイエー等々、次々に店舗を展開されました。が、昭和46年に天神の北側にショッピングセンターを開店した時には、天神に黒船来ると騒がれたものがです。いつのときか中内さんとのお話の中で、これからはパン、それも焼き立てパンが伸びると思いますよと勧められました。それをヒントに焼き立てパンに熱を入れ始めました。昭和50年代初めからパンの事業も手がけておりましたが、昭和59年にオーバーラー福岡店オープン記念写真



■オーバーラー福岡店オープン記念写真



■ウィーンのオーバーラー本店

街の南側への延伸が計画されており、天神の商圈は大変革を来しています。

### (終わりに)

それぞれのお店を出店するためには、それぞれ大変お世話になつた方々がおられまして、その方々のご協力があつてこそ、出店できたのであります。小生も今年の8月7日をもつて85歳となります。あらゆる企業が転換期にあり、伸びる企業、挫折する企業いろいろですが、急速拡大したものには必ず反動があり、不幸な結果に終わっている企業も数多くあります。何が長期的に安全であるかは仲々予見することは困難であります。それを十分研究して、企業の安全と成長とを両立させることが何よりも大事なことと信じます。



■オーストリア共和国ウィーン州より栄誉金章受賞(平成6年)



■パンテルン博多駅店(昭和59年)

この時には、ソラリアビルやジークス天神等の専門店ビルも同時にオープンして、第二次天神流通戦争と呼ばれました。そして今回の西鉄福岡駅再開発による三越デパートの進出と岩田屋乙サウンド、大丸エルガーラの完成による第三次天神流通戦争によって、天神の南側にも人が流れようになり、更には地下鉄3号線の工事が始まって、天神地下

一オープンした博多駅のパンテルンは、本格的な焼き立てパンの店としては博多で初めてだったと思います。続してショッピングセンターのレストランを、キャフェエトリアを併設したパンテルンに業態変更し、西鉄久留米駅のパンテルン等を開店致しました。

### (海外との提携)

天神町にあった貯金局の跡地が福岡市から払い下げられることになり、中央、地元を含めて多数の希望者が名乗りをあげて競争になりました。市の設計審査に叶うことが条件で、三菱地所・明治生命グループが引受けました。平成元年に中央を吹き抜けにした斬新なイムズビルができました。

風月は一階正面の一等の場所で、新しいブランドの洋菓子店を開くことを条件に、入居することになりました。いろいろ検討した結果、数百年間にわたってヨーロッパに君臨したバスブルク家によって音楽のみならず菓子や料理の分野でも優れた伝統の文化を持つオーストリア・ウィーンのオーバーラーという洋菓子店と提携し、その海外第一号店を開店しました。おそらく福岡最高レベルの菓子として自負しておりますし、多くの爱好者から好評を受けており、社長は後年日韓交流の功により、オーストリアから勲章を授与される栄誉に浴しました。

この時には、ソラリアビルやジークス天神等の専門店ビルも同時にオープンして、第二次天神流通戦争と呼ばれました。そして今回の西鉄福岡駅再開発による三越デパートの進出と岩田屋乙サウンド、大丸エルガーラの完成による第三次天神流通戦争によって、天神の南側にも人が流れようになり、更には地下鉄3号線の工事が始まって、天神地下

| 年<br>表      | 風月の歴史  |                                     | 世の中の動き   |
|-------------|--------|-------------------------------------|--|
|             | 年      | 月                                   |  |
| 昭和22年(1947) | 7月     | アイスキャンデーを発売(天神町市場)                  | 日本国憲法施行(5月)                                    |
| 昭和24年(1949) | 5月     | 西鉄街本店(喫茶)を開店                        | 朝鮮戦争(昭和25年) 西鉄ライオンズ誕生                          |
| 昭和26年(1951) | 5月27日  | 有限会社日星商会を設立(風月創業)<br>本店を増築、レストランを開店 | 天神町市場大火(8・27) 福岡スポーツセンター開業、大相撲九州準本場所始まる(11月)   |
| 昭和30年(1955) | 11月2日  | センター風月(軽食喫茶)を開店(元の福岡スポーツセンター内)      | 湯川秀樹ノーベル物理学賞、「青い山脈」流行                          |
| 昭和32年(1957) | 2月1日   | 因幡町商店街に製菓工場を開設                      | ソ連初の有人衛星打上げ(4・12) 西鉄福岡駅高架ターミナル完成、西鉄名店街誕生(11・1) |
| 昭和34年(1959) | 3月18日  | 平和台本舗を開店、平和台饅頭の発売を始める               | 日米安保条約発効(6・23) 天神ビル完成(6月)                      |
| 昭和35年(1960) | 12月13日 | 農協グリルを開店(天神5丁目)                     | 皇太子・美智子妃ご成婚(4・10)                              |
| 昭和36年(1961) | 11月1日  | 西鉄福岡駅に西鉄名店街店を開店(喫茶・レストラン・売店併設)      | ドルシヨク(8・16)                                    |
| 昭和37年(1962) | 3月1日   | 野間にアイスクリーム工場を開設                     | 福岡ビル完成(1月) 若戸大橋開通(9・26)                        |
| 昭和38年(1963) | 5月1日   | 日立ファミリー店を開店(店屋町)                    | 三井三池ガス爆発事故大惨事(1・9) ケネディ大統領暗殺(11・22)            |
| 昭和39年(1964) | 6月22日  | 福ビル9階レストラン・1階売店を開店                  | 東海道新幹線開通(10・1) 東京オリンピック開催(10・10)               |
| 昭和40年(1965) | 10月15日 | 製菓工場を野間に移設                          | 米軍北爆開始、ベトナム戦争始まる(2・7)                          |
| 昭和41年(1966) | 12月1日  | 国鉄博多駅にステーション売店を開店                   | 大濠で福岡大博覧会開催(3～5月)                              |
| 昭和42年(1967) | 10月1日  | この頃銘菓「雪うさぎ」を発売                      | 福岡空港第一ターミナルビル完成(4・14)                          |
| 昭和43年(1968) | 4月     | 北九州に出張所を開設、アイスクリームを拡販               | アボロ11号、初の月面着陸(7・20)                            |
| 昭和44年(1969) | 5月1日   | 交通センターに売店を開店                        | 大阪万国博覧会開催(3～9月)                                |
| 昭和45年(1970) | 10月6日  | 博多大丸に売店を出店                          | すかいらーく、ロイヤルホスト一号店開店                            |
| 昭和46年(1971) | 1月     | 久留米タミー売店を開店                         | 福岡ショッパーズプラザ開店(6月) 九州自動車道植木・熊本間開通(6・30)         |
| 5月18日       | 4月16日  | 玉屋に売店を出店                            | ダイエーショップ・ベースにイタリアーノ店、売店を開店                     |
| 6月18日       | 4月23日  | 福岡空港第一店を開店                          |  |
| 6月27日       | 4月27日  | 天神イタリアーノ店を開店                        |  |
| 昭和46年(1971) | 5月27日  | 因幡町より出火、西鉄街本店類焼                     |  |

# 50周年の今年から新たな歴史を刻む新規店舗

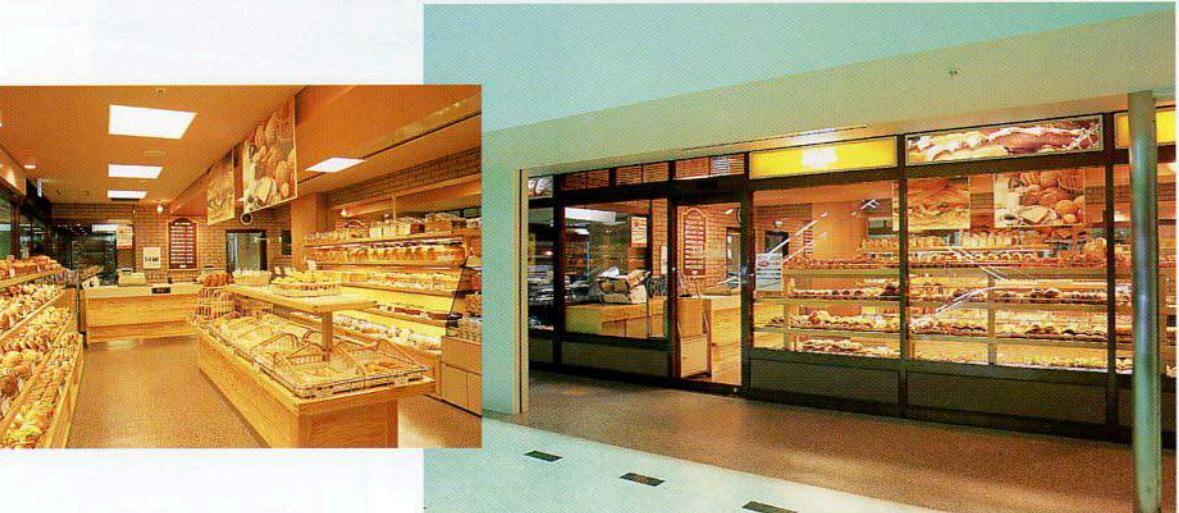
**西鉄福岡駅店**  
[ソラリアステージビル中2階]



■レストラン



■ソラリアステージビル



■パンテルン



■売店

| 風月の歴史                    |  | 世の中の動き   |
|--------------------------|--|--|
| 昭和62年(1987)              | 福山正直、代表取締役会長に、福山義朗、代表取締役社長に就任  | 国鉄分割民営化、JR発足(4・1)  |
| 昭和63年(1988)              | 銘菓「博多の梅」を発売  | 瀬戸大橋開通(4・10) 福岡ダイエー ホークス誕生(10・1)   |
| 平成元年(1989)               | 3月15日 岩田屋にパンを納入開始<br>3月17日 パンテルン西鉄久留米駅店を開店                               | 昭和天皇崩御(1・7) アジア太平洋博覧会(3・17～9・3)<br>消費税(3%)導入(4・1) 天神イムズビルオープン(4・12)<br>天安門事件(6・4) ベルリンの壁崩壊(11・9) |
| 平成2年(1990)               | 4月12日 イムズビルに「オーバーラー福岡店」を開店   | 長崎自動車道全線開通(1・26) スペースワールド開業(4・22)<br>とびうめ国体開幕(9・9) 東西ドッツ統一(10・3)                                 |
| 平成3年(1991)               | 5月14日 クリームランド熊本店を開店  | 福岡空港新第一ターミナルビル供用開始(9・9)  |
| 平成4年(1992)               | 5月6日 デイトスイタリアーノ店を開店<br>6月26日 七隈店 FC契約を解除                                 | ハウステンボス開業(3・25) 博多のもつ鍋全国的ブーム   |
| 平成5年(1993)               | 7月27日 博多駅デイトスに売店を開店<br>10月12日 安田生命ビル店を開店                                 | ベイサイドプレイスオープン(6・15) ソ連邦消滅(12・21)<br>福岡ドームにスベニア菓子納入開始   |
| 平成6年(1994)               | 10月31日 野間アピロス店を開店  | 福岡ドームオーブン(4・2) 皇太子・雅子妃ご成婚(6・9)   |
| 平成7年(1995)               | 2月1日 金立SA(下り線)レストラン・売店の営業受託<br>4月2日 福岡ドームにスベニア菓子納入開始                     | 細川連立政権誕生(8・6)  |
| 平成8年(1996)               | 6月1日 バンテルン福岡空港店を開店<br>9月8日 福岡空港めん処を開店                                    | 福岡空港新第一ターミナルビル供用開始(9・9)  |
| 平成9年(1997)               | 9月9日 バンテルン久留米店の営業形態変更(西鉄プラザと業務提携)<br>10月17日 福山義朗社長、オーストリア・ウィーン州「荣誉金賞」を授賞 | 社会党首班の村山連立政権誕生(6・30)   |
| 平成10年(1998)              | 11月15日 博多区立花寺に「雪うさぎ工場」を開設<br>12月30日 橋本元常務逝去                              | 阪神淡路大震災(1・17) 九州自動車道(人吉～えびの)全線開通(7・27)<br>地下鉄サリン事件(3・20) ユーバーシアード福岡大会開幕(8・23)                    |
| 平成11年(1999)              | 1月3日 クリームランド岩田屋Zサイド店を開店<br>4月3日 姪浜デイトス店をクリームランドに業態変更                     | 大分自動車道全線開通(3・28) キヤナルシティ博多オープン(4・20)<br>岩田屋Zサイドオープン(9・22)  |
| 5月20日                    | 5月26日 広川SA店を改装(売店・スナックコーナー)<br>5月26日 那覇空港新国際線ビルに「めん処」を開店                 | 病原性大腸菌O157感染症流行(7月)<br>香港、中国に返還(7・1) 西鉄福岡駅三越オープン(10・1)   |
| 冬季長野オリンピック開催(2月)         | 冬季長野オリンピック開催(2月)   | 市営地下鉄3号線起工(1・22) 大丸エルガーラオープン(3・2)  |
| 博多リバインオープン(3・6)          | 博多リバインオープン(3・6)  | 岩田屋Zサイドオープン(9・22)  |
| 都市高速、太宰府インターチェンジ直結(3・27) | 都市高速、太宰府インターチェンジ直結(3・27)   | 香港、中国に返還(7・1) 西鉄福岡駅三越オープン(10・1)  |
| ソラリアステージビルオープン(4・3)      | ソラリアステージビルオープン(4・3)  | ソラリアステージビルオープン(4・3)  |

### 広川サービスエリア店



■スナックコーナー



■クリームランド



■売店

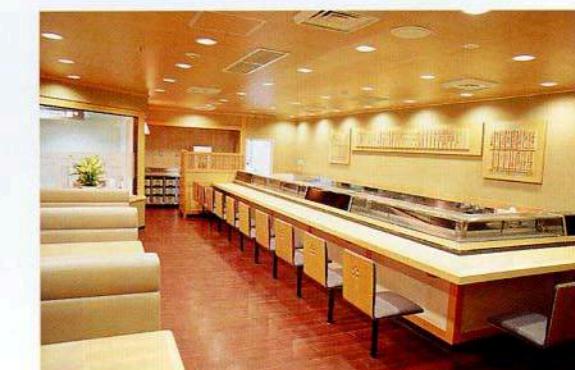
### 新那覇空港店



■新那覇空港ターミナルビル



■レストラン(4階)



■寿司店(4階)



■スナックコーナー(ゲートラウンジ)



■スナックコート(2階)

## 橋本教元常務の遺稿

A portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing black-rimmed glasses, a white shirt, and a dark blue striped tie. He is looking slightly to his left.

橋本 教元常務

昭和22年7月、戦災で焼け跡になつた天神に天神市場があつた。そこを市役所の方に入つたところ、丁度郵便局の裏手にあたる宅地に、バラツク建で二階建のアイスキヤンデー屋を始めることになった。一階が店舗で、二階は住居になつていて、内藤ハツさんという人の名義で始まつた。内藤さんの従兄弟金子潤一郎と私、橋本と三人が住み込んでいた。近所には佐渡島とアルプスと二軒のアイスキヤンデー屋がすでに営業していた。アルプスの川原さんは満州からの引揚者で、身内の人人が集まつてアイスキヤンデー屋をしておられました。（＊注－川原さんは、辛し明太子を発案、博多のお土産として広めた「ふくや」の創業者川原俊夫さんの兄、川原儀夫さん引揚者特有の太っ腹な人で、風月の三人が素人でアイスキンデーの作り方もよく知らないようなので、自分の所の仕事が終わるとみんなで押しかけて、キンデー作りを手伝ってくれました。毎晩遅くまでやつていて、私達にとつては、とても

名前で売り出しました。このせんざいもズルチンやサツカ  
リンを使っていましたが、その甘味だけでは美味しいあ  
りません。かといって、闇の砂糖は高くつくことと、砂糖  
を入手することが難しい時代でした。

A black and white portrait of a man with dark hair and round-rimmed glasses. He is wearing a light-colored, possibly white, button-down shirt. He is seated at a table, looking directly at the camera with a neutral expression. The background features a wall with a decorative mural. The mural includes the word "straight" written in a cursive script at the top, and below it, a stylized fleur-de-lis or similar emblem, followed by the phrase "AS YOUR ORDER IS". To the right of the man, there is a vertical panel with three circular cutouts.

## ■当時の元橋本常務

下げる。下げてもらった記憶がある。

「ですから、泥棒か何かと思われても致しません。」  
「どこからどこへ行くのか」と聞かれても返事ができません。黙秘権という言葉も知りませんでしたが、兎に角返事ができなかつたのです。「良し、今晚はここに泊りなさい」と言われて、さあ困ったことになった。明日の開店準備ができていないし、内藤さんが心配して待つて居るうと思うと、じつとして居られない。とうとう辛抱しきれなくて、内藤さんに電話して迎えに来てもうよう頼みました。しばらくすると社長より電話があり、「何も心配することはない、経済違反だから問題はないよ」と言われましたが、なにぶん始めて警察のご厄介になつたのである。實にいやな思いをしたものである。この時は、

画家、音楽家、知名士を連れて来られたものである。深夜閉店をして帳簿整理をしていると、井上文化部長がお客様を連れて来て、「おーい、風月さん、コーヒーを飲ませてよ」と呼ばれる。当時はまだ、ガスはなかつた。七輪で消し炭に新聞紙で火を熾し、堅炭を入れてお湯を沸かす。コーヒーを入れるまでに三十分も四十分もかかるが、話をしながら待つておられた。

コーヒーは進駐軍から闇で仕入れたものを使っていた。

ありがとうございました。（初日の売上は、三千八百円であつた）

る数が増えると作業も増える。

こんな状況でとても疲れるので、栄養をとるために毎日牛乳を一本ずつ飲んでいた。畠山さんという人が毎日配達してくれていた。たまたま忙しいので、牛乳瓶を冷凍庫の中にキャンデーと一緒に入れていた。さあ飲もうとすると、牛乳は凍つてしまつてしまつてしかも瓶はビビが入つて割れています。でも勿体ない、捨てる訳にはゆきません。割れた牛乳瓶をはがして、中身の牛乳の凍つたものを食べました。ところが、この牛乳の水は硬くないので。スカッスカッと歯切れが良くて、しかも味は甘みさえ感じられます。(少し甘みをつければ、申し分のない味になる。)「コレダ!」と思いました。自分が食べて美味しいものは、誰が食べても美味しいものです。

翌日から早速、ミルクキャンデーを一本一円で売り出しました。普通のアイスキャンデーは一本一円でした。井上病院の看護婦さん、入院患者の方が予約して買いに来られました。評判になつて、九大病院の方からも買いに来られるようになりました。そのうちに、店で売るだけでは売上の伸びは大したことではありません。アルバイトの学生さんに頼んで、自転車の荷台にアイスキャンデーを入れたコインテナ(コルクの断熱材を入れてあるアイスボックス)を積んで、箱崎の方まで売りに行ってもらいました。天神から箱崎まで自転車でキャンデーを売りに行くのは大変な重労働です。これは当社社長夫人の弟さん(上野雄造さん)や、そのお友達の方にやってもらいました。

夏の間はアイスキャンデーやかき氷を売つていれば良いのですが、秋になると、とたんにキャンデーは売れなくなります。さて今度は、ぜんざいです。小豆を使つたものを「かわー、トロクスン(白ハ豆)」使つたものを「うさぎ」と、う

Maxwellhouse・S and N.O'connor's・Chase and Sanborn・  
Folger's・BenHur・Fromme's…」ふねふねあつたが、三一

Bが一番香りも良く美味しいと思った。

「サンスター」という店名でアイスキャンデーの店を開店することになる。勿論、私も家内や子供（長男研が満一

風月は個人商店として発足したが、私は昭和16年当時、資本金四億七千万円の日本窒素肥料株式会社に勤務していたんだ。いつまでも個人商店のままではつまらない、早く会社組織にしたいと念願していた。そのためには、どんな苦労もいとわないという気迫にあふれていました。昭和24年、有限会社日星商会を設立しました。これは、風月が天体に関することにちなんで、太陽と月を連想して日星商会としたものです。天体のように大きくなるようにと願って名付けたものであります。

るようになると願つて名付けたものであります

るようになると願つて名付けたものであります。

東中洲で西島さんと共同で始めた「サンスター」、これも日と星を英語に言い換えたものです。昭和24年、西鉄商店街ができると、こちらで喫茶「風月」を始めること

になり、西島さんとの共同経営は手を引くことになりました。「サンスター」はそれからしばらくして、ご主人西島さんがご病気（結核）で入院されてからは、奥様だけではやつてゆけず店を閉められました。



当り、当時の洋食料理の権威であった荒田勇作先生をお呼びして、指導を受けました。樋川常務は、その時東京から九州へ来てもらった荒田先生の娘婿にあたる人です。

昭和37年2月のある日、私と座親さんは社長の車に乗せられて、市内を南に向かいます。一丁目を過ぎると、すぐ田んぼが見えてきます。田んぼの真ん中に、基礎工事をしている現場があります。ここでアイスクリーム工場をつくる、西部施設工業が建設してくれること、今日からここで工場ができるよう頑張ってくれ、天神に来る必要はないとの言葉です。当時喫茶店で売るアイスクリーム一杯五十円、六十円のものを作るのは分かっているが、一個十円のものを知らなかつた。アイスキャンデーが五円であった。その頃に森永乳業の子会社にいたという若い技術者が来た。理論的には分かっているが、製品の原価という点では今一つ計算が合わない。利益が出ない。それだけに美味しいものができているが、商売にはならない。平和台饅頭にいた和菓子の職人中、西鼎君をアイスクリーム工場に連れてきて、勉強させた。新世乳業にいた右谷君を呼んだ。

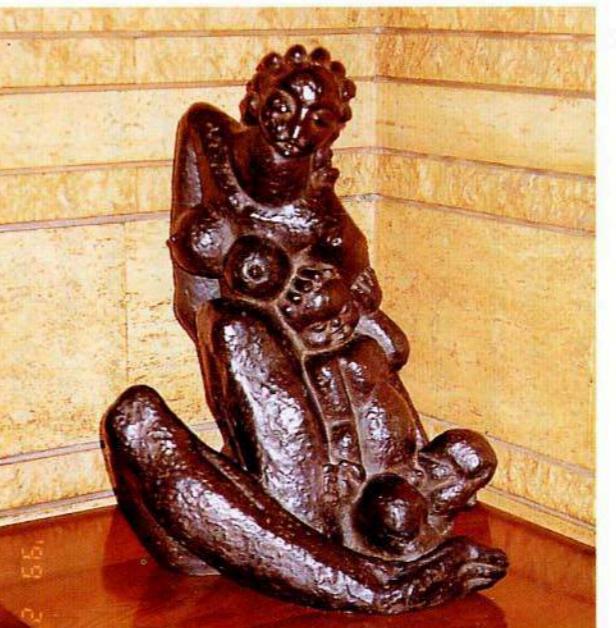
工場ができる前に、森永製菓の下請製造を頼みに行つた。井上福岡支店長は、いいですよ、そのうち工場を一度見に行きます、どこにありますかと言われた時は、あわてたものです。まだ建物も建っていないし、機械も据わっていないのです。森永ではアイス饅頭一ヶ六円八十銭位で注文をくれました。工場が運転開始すると同時に、下請製品の納入です。ところがアイス饅頭は、原価が牛乳、卵、小豆餡、砂糖これらの材料費だけで六円八十銭位かかり、人件費や工場機械設備の償却費や銀行借入利息等その他諸経費が出てまいりません。それでも、毎日の

出勤人員から割り出した一人一時間当たりの生産数を各品種毎に出して、原価計算をするのは大変でした。毎朝七時から、夜は午後八時九時まで、遅い時は十二時近くまで作業をするという状態でした。

昭和37年スタートしてから、昭和38年、39年とだんだんに赤字も少くなり、昭和40年では累積赤字を取り戻すところまで伸びて、業績も良くなりました。しかしこのアイスクリーム事業は、拡販のためにはストッカーを貸し出ししなければならないし、良い製品を作るためには設備投資が必要である。何にしても、投資産業で大手メーカー（森永、明治、雪印、グリコ、名糖等々）との競争である。長くは続かなかつた。昭和45年に新世乳業に肩代わりさせて、風月アイスクリームは設備投資を抑えて撤退を決意する。昭和48年のシーズンオフまで徐々に撤退準備を固めていった。当時、アイスクリーム・菓子・レストランそれぞれ1/3ずつの売上構成であった。アイスクリーミング部門を抑えて、レストラン事業に移行するよう、44年の空港第一店、45年のショッパーズイタリアーノ店、47年のFC七隈店、安田生命ビル店、48年の広川SA店、グルメ博多駅前店、49年の空港第二店等々、レストラン店舗への出店投資を続けることになった。

昭和30年代であったろうか、ある日社長がソフトクリームの機械（スエーデン製）一台七十万円もするものを、一度に七台も買ってこられた。兎に角、岩田屋、玉屋、大丸、測上各百貨店に置かせてもらうよう頼みに行けとの命令である。岩田屋八階の食堂入口で、ソフトクリームの実演販売である。風月にも二階に二台置いていた。後一台、これは鉄道弘済会にということで、寿軒の末永社長に頼みに行つて、駅構内待合室でも実演販売することになる。

昭和46年5月、因幡町より火災が発生、近隣の大谷、風月、房屋と類焼した。風月は、一階レストラン、二階喫茶の半分に火が入りました。一階レストラン奥の壁にあつた安永良徳先生の彫刻二体も焼けてしまつた。一階から階段を上がつたところ、右側の喫茶室に入るとそこにつたトーテムポールに似せた柱への彫刻は、鹿児島寿蔵氏の作であったが、延焼時の熱風で黒焦げになり、僅かに柱根元の方に彫刻の跡が残るのみとなつた。この中で不幸中の幸いといふか、安永良徳先生の作母子像（青銅製）は煤で真っ黒になつた程度で類焼から免れ、今も天神コアビル店に陳列している。貴重な風月の文化遺産である。



■焼け残った母子像(安永良徳作)

# 風月は食の文化を追求し、豊かなフードサービスをクリエイトします。

## 将来を支える風月マン・風月レディー



## FUGETSU GROUP

風月フーズ株式会社

株式会社 沖縄風月

ウーンオーバーラー株式会社

株式会社 バンテルン

サンエフ株式会社

福山アンドアソシエイツ株式会社

### 会社組織の変遷

|                      |                                      |
|----------------------|--------------------------------------|
| 昭和24年 5月27日 : (1949) | (有)日星商会設立(資本金100万円)                  |
| 昭和33年 2月20日 : (1958) | (有)日星商会を株式会社に組織変更                    |
| 昭和34年 1月 1日 : (1959) | (有)たつみを買収                            |
| 昭和34年 3月18日 : (1959) | (有)たつみを(有)平和台に商号変更                   |
| 昭和35年 5月31日 : (1960) | (有)平和台を(有)福岡風月に商号変更                  |
| 昭和35年 9月15日 : (1960) | (株)日星商会を(有)福岡風月に吸収合併                 |
| 昭和40年 4月 9日 : (1965) | まさや商事(株)設立                           |
| 昭和45年10月 1日 : (1970) | (有)福岡風月を株式会社に組織変更                    |
| 昭和46年 3月26日 : (1971) | 増資(資本金6000万円)                        |
| 昭和46年10月13日 : (1971) | 増資(資本金8000万円)                        |
| 昭和46年12月21日 : (1971) | 増資(資本金1億円)                           |
| 昭和47年 6月30日 : (1972) | (株)福岡風月を風月フーズ(株)に商号変更                |
| 昭和47年 9月13日 : (1972) | 火の山観光(株)設立                           |
| 昭和49年 7月25日 : (1974) | 火の山観光(株)を(株)沖縄風月に商号変更                |
| 昭和51年 6月30日 : (1976) | まさや商事(株)を筑紫興産(株)に商号変更                |
| 昭和58年 6月16日 : (1983) | サンエフ(株)設立                            |
| 昭和60年 8月 7日 : (1985) | 福山アンドアソシエイツ(株)設立                     |
| 昭和61年 9月27日 : (1986) | 筑紫興産(株)を(株)バンテルンに商号変更                |
| 昭和63年12月 1日 : (1988) | カフェコンティライオーバーラー(株)設立                 |
| 平成10年 1月 1日 : (1998) | カフェコンティライオーバーラー(株)をウーンオーバーラー(株)に商号変更 |

## 歷代役員一覽

## 祝 辞

A formal portrait of Tadahiro Matsushita, an elderly man with glasses, wearing a dark suit and tie. He is looking slightly to his left.

福岡風月会会長  
栗原 巖  
(株式会社トーホー会長)

が三千円程度だったから、一杯三十円のコーヒーは最高の贅沢品でした。

対応されている  
ないでしようか

普通庶民の憩いと飢えを満たすものでしたし、翌25年には朝鮮戦争が始まり、米軍の集団脱走兵が小倉市内で乱暴するといった、殺伐たる世相で

50年後の今日、当時を顧ると風月フーズ様の卓越した経営力に驚かされます。それは大衆の求める生活の潤いに狙いを付け、時代の要求する営業内容として柔軟に対応してこられたということです。

風月フーズ様お取引の会員企業百十二社のお祝いの言葉を、50年史の誌上をお借りして申し上げます。

によりますと、1月に日本の国旗の掲揚が認められ、4月には1ドル三百六十円の為替レートが設定され、5月には戦後初めての台湾バナナが輸入され1本三十円から四十円で売られた、等々の頃です。

作られた、餡の上にチヨツ・ピリ本物の砂糖をのせたメニューが爆発的に売れたとか、コーヒーは進駐軍のコーヒーが原料で、月給

コーヒー、アイスキャンディーから始まつた國民生活のくつろぎへの展開は、その後の商品開発、また福博の街にブームを巻き起こした喫茶店経営、さらに立地拡大・規模拡大のスピードが加速されても、常に明瞭に把握されていました。

空港への出店、菓子事業への展開、郊外型レストランへの布石、高速道サービスエリアへの出店、オーストリア・オーバーラーとの提携出店、沖縄空港への出店、ベーカリー事業としてのバンテルン、……。

大量生産、大量消費の掛け声で、肥大化企業が今リストラを迫られ苦しんでいるとき、一店一店、大衆の好みに合わせた柔軟なメニュー・商品提供で

| 福岡風月会企業一覧           | (百十一社)                |
|---------------------|-----------------------|
| 株式会社 愛香園            | 株式会社 新出光 福岡ガス支店       |
| 株式会社 旭商会            | 株式会社 シンギ 福岡営業所        |
| 株式会社 アベックス 福岡支社     | 株式会社 ピピック             |
| 株式会社 池傳 福岡営業所       | 株式会社 シンコー             |
| 内田食品産業株式会社          | 株式会社 ジャフコ             |
| 石川香福園               | 株式会社 寿美屋              |
| エイケン株式会社            | 株式会社 フジカラーサービス        |
| 株式会社 いわさき 九州支店      | 株式会社 JAふくおか八女広川地区センター |
| 株式会社 上野商店           | 株式会社 廣田商店             |
| 大西商事株式会社 福岡支店       | 株式会社 福岡中央青果協業組合       |
| 株式会社 大野紙器           | 株式会社 福一製餡株式会社         |
| 岡城産業株式会社            | 株式会社 福岡協同製餡株式会社       |
| 北九州コカコーラボトリング株式会社   | 株式会社 福岡弘乳舎            |
| 有限会社 九州おしほり         | 株式会社 大成物産             |
| 九州カネカ食品販売株式会社       | 株式会社 太陽ミート            |
| 株式会社 九州デイリーフーズ 福岡支店 | 株式会社 タカイシ             |
| 九州パッケージ株式会社         | 株式会社 高島屋 九州営業部        |
| 有限会社 クロカワ印刷         | 株式会社 東急スペース開発 九州支社    |
| 株式会社 敬雄社            | 株式会社 東光 福岡支店          |
| 株式会社 巧芸社 九州営業部      | 株式会社 塔文社 九州営業所        |
| 有限会社 古賀鮮魚           | 株式会社 トーホー 福岡支店        |
| 小倉文具株式会社            | 株式会社 二鶴堂              |
| 有限会社 コバヤシ           | 株式会社 鳴海屋              |
| 西部ガスエネルギー株式会社 福岡東支店 | 株式会社 西川商店             |
| 榊商店                 | 株式会社 西広               |
| 有限会社 佐藤純一商店         | 株式会社 西鉄エージェンシー        |
| 株式会社 サニクリーン九州 中央支店  | 株式会社 日本印刷工業株式会社       |
| 三幸建設工業株式会社 九州支店     | 株式会社 日成産業株式会社 福岡南営業所  |
| 有限会社 三祐社            | 株式会社 ニノミヤ物産株式会社 福岡本店  |
| 三友堂製菓有限会社           | 株式会社 乃村工藝社 九州支店       |
| 株式会社 ジャパン松貞         | 株式会社 はし金本店            |
| 有限公司 松栄食品工業所        | 株式会社 博光堂 本舗           |
| 白熊商事株式会社 福岡支店       | 株式会社 花キク              |
| 有限公司 東福岡販売          | 株式会社 吉海工務店            |
| (社名五十音順)            | 株式会社 ロッテ商事株式会社 福岡支店   |



■福岡風月会より50周年のお祝を贈呈(平成11年4月8日)

## 風月グループのロゴタイプ一覧



(風月ロゴタイプ)

ベーカリーグループ



(菓子売店)



(シュークリーム専門店)



パンテルン

(焼き立てパンの店)



Wien-Oberlaa

(ウィーン菓子専門店)

レストラングループ



(レストラン全般)



(和風レストラン)



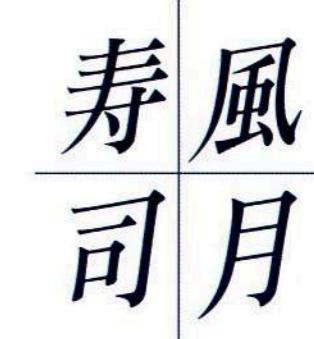
(ベーカリーレストラン)



(ソフトクリーム専門店)



(そば・うどん専門店)



### 編集後記

一年少し前に、社長より50周年の記念誌を編集するようとのご下命があり、ハタと困りました。

社内に創業当時の昔を知る人はご高齢の創業者会長以外になく、それで社内で過去の歴史を整理した資料を目にしたものなかつたので、どのような形で作ることができのか正直思い浮かばなかつたからです。思えば、戦後の混乱期から今日までわき目もふらず、仕事一筋に邁進してきた会長ですから、後ろを振り向くような余裕などはなく、過去の資料を残していないのも無理からぬことでした。従つて、会長の回想録を基本に据えて編集するという方針で了解して頂き、過去の資料収集を始めました。そして今、この記念誌を上梓して思うことは、創業以来、会長と一人三脚で風月を支えてこられた故橋本元常務が遺されていた写真や資料がなければ、記念誌としての体裁が整わなかつたであろうということです。特に、会長の回想録と、故橋本常務が色褪せたノートに書き遺された創業当時の苦労話とは表裏をなすもので、これを読み合わせてみると風月の歩みを具体的に理解できることだと思います。まさに、この記念誌も会長と故橋本元常務の二人三脚でできあがつたと言えます。もう一つ気になつたことは、裏方に徹して会長を支えてこられた智子夫人のご功績を、どのようにして表現できるかということでしたら、社長が「ご挨拶」の中で感謝の気持を綴られました。更に、辛子めんたいの老舗ふくやの50年史に、「福山正直、風月を創業」とわざわざ記されている意味も今回判明しました。

編集者としては、この記念誌が単に過去の歴史の整理ということに終らず、「温故知新」という諺にあるように、次の百周年に向かつてこれから風月を支えていく人達へのメッセージとなるものであつて欲しいという意思でした。他社の記念誌とは比べようもないのですが、これはこれで会長の一代を飾るにふさわしいものができたのではないかと思つております。諸資料を快くお貸し頂いた故橋本常務令夫人の金枝様、並びに編集にご協力頂きました西日本印刷工業・リードの関係者の皆様にお礼を申し上げます。

(吉田朋春)

### 風月 五十年の歩み

発行日／平成11年5月27日

編集／有限会社リード

印刷／西日本印刷工業株式会社

発行／風月フーズ株式会社  
〒815-0041  
福岡市南区野間1丁目11番8号  
TEL 092(551)0031

|  |  |
|--|--|
| 風月 五十年の歩み  |  |
| 発行日／平成11年5月27日   |  |
| 編集／有限会社リード   |  |
| 印刷／西日本印刷工業株式会社   |  |
| 発行／風月フーズ株式会社<br>〒815-0041<br>福岡市南区野間1丁目11番8号<br>TEL 092(551)0031 |  |

表紙の写真は、昭和27年5月11日に撮影された、西鉄街本店風月前に慰安旅行で勢揃いした従業員の集合写真

